

(一財)長崎県剣道連盟

広報誌 第15号

剣道だより (KENDO Nagasaki)



令和3年頭のご挨拶 (一財)長崎県剣道連盟 副会長兼理事長 小野田稔

新年のご挨拶としては時期を失っていますが、皆様におかれましては、ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。また、日頃から県剣連の諸行事にご協力頂き有難うございます。心よりお礼申し上げます。

さて、昨年「新型コロナウイルス感染症」により、世界規模で厳しい年となりました。本県の剣道関係では、春の長崎市・佐世保市・雲仙市での剣道昇段審査会を始め各種講習会、大会、合同稽古会等が中止となりました。居合道、杖道においても同様であり、令和2年度の諸行事の多くが開催出来ませんでした。本当に残念で、楽しみに稽古に励んでおられましたのに申し訳なく思います。しかし、これも感染防止の上からもやむを得ない措置であったと感じております。

※ 全日本剣道連盟、スポーツ庁からは

- 令和2年4月6日「新型コロナウイルス感染症の集団発生を防止するためのお願い」・当面、対人的な稽古は中止してください。(全日本剣道連盟)
- 「スポーツ関係の新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」について(スポーツ庁ホームページ)を始め数々の感染防止ガイドラインや稽古に対する予防策が示されてきました。

※ 本県剣道連盟から

- 令和2年3月25日「新型コロナウイルス感染拡大による各種行事の対応について」
- 令和2年4月8日「新型コロナウイルス感染拡大による各種行事の対応について」(第2弾)「全剣連からの集団発生を防止するためのお願い」添付
- 令和2年4月17日「新型コロナウイルス感染拡大による各種行事の対応について」(第3弾)
- 令和2年6月4日「対人稽古自粛解除及び感染防止ガイドラインについて」

等々を発出して、各協会長宛てお願いしてまいりました。皆様には大変ご不便をおかけ致しましたが、お陰様で剣道の稽古や大会での発生は今のところないようです。

今年に入り第3波と言われ、感染者や重症者が増加傾向にあつて、医療体制が逼迫しています。このような中、各種行事ができないではなく、どのような安全・安心対策を施し、できる限り計画に沿って行なって参りたいと考えます。これには会員皆様のご理解とご協力をお願いしなければなりません。

また、これが終息に向っていると思われる場合でも油断することなく、稽古・大会・講習会等に臨んでいただきますようお願い致します。

このような機会に自分の剣道(居合道・杖道)をじっくり見つめ直す機会と捉えてもいいのではないのでしょうか。結びとして、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げますとともに、令和3年度が幸多き年となりますよう祈念申し上げご挨拶いたします。

心解く時くれといふ雨水かな (小島一恭)・・・「雨水」(うすい)2月18日

雨水は寒い冬の時期には雪が降っていたところから、雪ではなく雨に変わり、降り積もった雪が解け始めて水に変わり、草木が芽を出し始めるなどの意味があります。また、農耕の準備を始める気候になってきたという目安にもされていました。

雪解けが始まったことで地面が潤い、春一番も吹き、春の気配を感じ始めます。雨水の日は「雛人形を出す日」といわれることがあります。これは、雨水に雛人形を飾ると、その家の女の子は良縁に恵まれるという言い伝えがあるからです。雛祭り(桃の節句)の12日か13日前が雨水の日なので、雛人形を飾り始める目安としています。しかし、雨水と雛人形には直接の関係はありません。雨水の前の二十四節気である「立春」から飾ることもあります。それが早いと思うのであれば雨水の日から飾れば良いのです。一般には、雛祭りに近い大寒の日から飾ることも多いので、雨水の日にとらわれずに臨機応変に行なって問題ないのです。春を目の前に剣道に厳しい季節であった冬がもうすぐ終わろうとしています。このような時期こそ剣道の稽古は基礎基本を大事に本来の剣道の楽しみ方で過ごすのも良いのかもしれないですね。



写真：水仙
花言葉：「神秘」

報告(1)・・・令和2年度全国高校選抜大会長崎県予選 島原高校 男女優勝

標記大会が令和3年1月17日(日)佐世保市東部スポーツ広場体育館で開催されました。全国11都道府県に緊急事態宣言が発出されるコロナ禍のなか、新型コロナウイルス感染対策を全日本剣道連盟ガイドラインに沿って、無観客、面マスク(鼻まで覆う)・面シールド着用、健康観察提出、検温、こまめな消毒、手洗いなどを考慮しながらの実施でした。開催にあたり、高体連剣道専門部では何度となく高体連本部及び長崎県剣道連盟との打ち合わせにより、無観客試合、大会補助役員を含め、1年生、2年生のみの参加で、試合は1日間開催、女子団体戦予選リーグなし(トーナメント戦、決勝リーグ実施)、男子団体戦予選リーグなし(トーナメント戦)で実施されました。

女子団体決勝は4強による決勝リーグを実施しました。島原高校が3戦全勝で優勝。島原高校と西陵高校の対戦は島原高校が3－1で下して4年ぶり14度目の勝利を飾りました。2位西陵高校は西海学園高校と1勝1分け1敗で並びましたが、3試合の合計勝者数で上回り、5年ぶり8度目となる春の代表を獲得しました。11月の新人戦でも個人4強を独占した島原高校は昨季からメンバー入りをしていた生出を中心にメンバー5人中3人が粘る西陵高校を相手に地力を発揮しました。

男子団体は決勝では島原高校が11月の県新人戦優勝に引き続き、長崎南山高校を1－1の代表戦で下して3年連続16回目の優勝を飾りました。決勝戦では長崎南山高校の次鋒仁位、島原高校の副将安田が勝利して1－1の代表戦へ突入しました。最後は島原高校の安田が長崎南山高校の大將山中にコテを決めて競り勝ちました。

全国トップレベルの島原高校男子、女子は女子西陵高校とともに全国選抜剣道大会でも優勝をじゅうぶんに狙うことのできる実力のあるチームになってきています。

長崎県高等学校体育連盟 剣道競技専門委員長 松尾好郎



男子団体優勝 島原高校 16回出場



女子団体優勝 島原高校 13回出場



女子準優勝 西陵高校 8回出場

試合結果及び最優秀・優秀選手

【男子団体戦】参加校 23校

優勝 島原高校

準優勝 長崎南山高校

3位 五島高校

3位 西海学園高校

【女子団体戦】参加校 17校

優勝 島原高校

準優勝 西陵高校

3位 西海学園高校

3位 瓊浦高校

男子

最優秀選手	安田祐也	島原高校
優秀選手	下田慎太郎	島原高校
優秀選手	山中駿柊	長崎南山高校
優秀選手	村岡 泰成	五島高校
優秀選手	藤原 条太郎	西海学園高校

女子

最優秀選手	生出 琴華	島原高校
優秀選手	福園 楓音	島原高校
優秀選手	大野 美月	西陵高校
優秀選手	副島 穂乃花	西海学園高校
優秀選手	太田 成美	瓊浦高校

【男子団体決勝戦】 3年連続16回目の優勝

	島原高校	○	①	—	1	×	長崎南山高校
先鋒	小柳宏成	△	メ	—	メ	△	西山 颯
次鋒	大園凌剣	×		—	コ	○	仁位泰晟
中堅	小山 颯	△		—		△	山口 拓
副将	安田祐也	○	メ	—		×	池田丞士
大將	下田慎太郎	△		—		△	山中駿柊
代表	安田裕也	○	コ	—		×	山中駿柊

【女子団体決勝リーグ戦】 4年連続13回目の優勝 西陵高校 5年ぶり8回目出場

	島原高校	○	③	—	1	×	西陵高校
先鋒	永井 萌	○	メメ	—	ド	×	米村咲歩
次鋒	福園楓音	○	ドド	—		×	松尾優花
中堅	横江優那	×		—	メ	○	大野美月
副将	井上心春	○	メド	—	メ	×	小山結衣
大將	生出琴華	△		—		△	栗田乃愛



報告(2)・令和2年度 長崎県剣道選手権大会(男子・女子)

兼第68回全日本剣道選手権大会県予選兼第59回全日本女子剣道選手権大会県予選

令和3年1月31日(日)、諫早市中央体育館(内村記念体育館)において(一財)長崎県剣道連盟主催、(公財)KTNスポーツ振興財団後援で標記大会が開催されました。好天に恵まれ、さわやかな風も入りこむ剣道日和となり、県内各地から集った精鋭が選手権大会にふさわしくレベルの高い熱戦を繰り広げました。

男子優勝者は令和3年3月14日(日)、長野県長野市真島総合スポーツアリーナで開催される第68回全日本剣道選手権大会に女子優勝者は令和3年3月14日(日)、長野県長野市真島総合スポーツアリーナで開催される第59回全日本女子剣道選手権大会に長崎県代表として出場します。

【男子】優勝 宮崎東平(学剣連) 2位 志築柊威(鹿屋体育大) 3位 宮寄大(朝日大)・中島孝彰(学剣連)

【女子】優勝 岩本瑚々(島原高校) 2位 松下明奈(大阪教育大) 3位 黒木美宇(大阪教育大)・峯松加奈(島原高校)



男女優勝者



男子入賞者



女子入賞者



女子決勝戦



男子決勝戦



男子準決勝戦



女子準決勝戦



男子準決勝戦



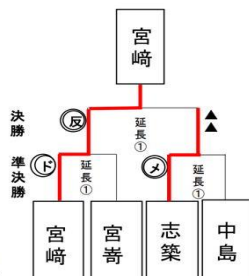
女子準々決勝戦

令和2年度 長崎県剣道選手権大会 兼
第68回全日本剣道選手権大会及び第59回全日本女子剣道選手権大会 県予選結果
令和3年1月31日(日) 諫早中央体育館

◆男子

順位	氏名	所属
優勝	宮崎 東平	瓊浦高教(学剣連)
第二位	志築 柊威	鹿屋体育大
第三位	宮寄 大	朝日大
	中島 孝彰	長大職員(学剣連)

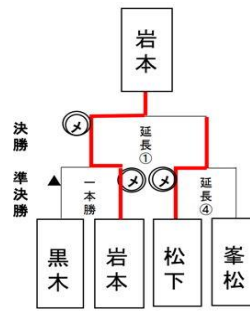
※優勝者は令和3年3月14日(日)長野県で開催される第68回全日本剣道選手権大会に長崎県代表として出場する



◆女子

順位	氏名	所属
優勝	岩本 瑚々	島原高
第二位	松下 明奈	大教大
第三位	黒木 美宇	大教大
	峯松 加奈	島原高

※優勝者は令和3年3月14日(日)長野県で開催される第59回全日本女子剣道選手権大会に長崎県代表として出場する



読み物(1)・『鬼滅の刃』にみる日本刀の魅力 (一財)長崎県剣道連盟居合道部 高木志伸

～日本刀の歴史と技術の進歩～

『鬼滅の刃』というタイトルのマンガや映画を知っているでしょうか。大正時代を舞台にしたアクションアドベンチャーで、人を喰う「鬼」と、それに対する鬼殺隊の戦いを描いています。なぜ『鬼滅の刃』は、大きな人気を集めたのか？そして面白さの秘密はどこにあるのか？それは戦いの中で使用されている日本刀の強さと美しさの調和が日本人の心を驚嘆みにしてしまったのです。

日本刀は武士の魂といわれ、相手を倒すための武器や護身のためのものでした。明治維新の廃刀令によって無用の長物になり、一方では刀剣の神秘的美しさが古くから美術工芸品として高く評価されています。

刀剣は平安末期から登場した反りのある鎬(しのぎ)造りの日本刀が砂鉄を集めて玉鋼(たまはがね)をつくりこれを火によって鍛錬して水に着けて焼き入れをします。そして研磨をして仕上げる日本刀造りの様式がこの頃に定着しました。

直刀から反りのある日本刀に変化した理由は偶然に焼入れの段階で反りがついたものをそのままにしたもので徒歩戦から騎馬戦への変遷で実用的にも優れていたために研究と改良工夫がされました。

江戸時代に造られたものは刀であり、太刀に比べると一般に反りが少ない。刀工も鉄産地から城下町に集まるようになってきました。反りのある日本刀が造られるようになると刀工たちは独特の刃文をつけるようになりました。この頃より日本刀が武器である以上に美の対象、信仰の対象として考えられるようになってきました。

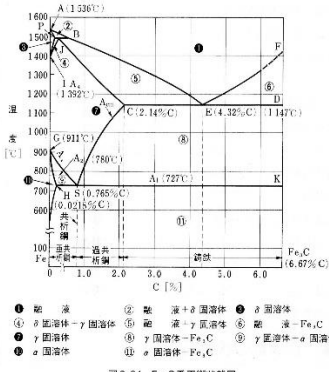
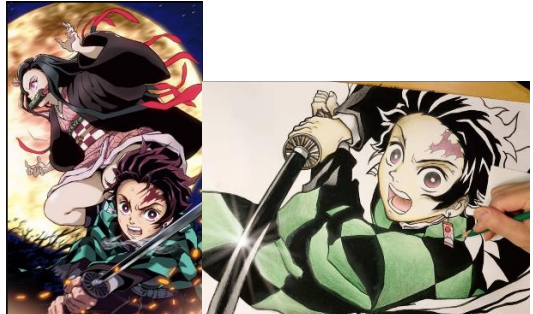
日本刀は武器としてだけでなく土、鉄、火、水によって生み出された自然の産物という神秘的な側面を持っています。日本刀の素材は、日本古来の製鉄技術であるたたらによって生産され、その品質は他に比類ないほど優れたものです。このたたらによって生産された広義の鉄は、以下の3種類からなる鑄(けら)という塊(かたまり)です。これを破碎・選鋼して、それぞれ含有炭素量によって以下のように分類します。

狭義の鉄(てつ)・・・炭素量 0.0～0.03%のもの。加熱せずともたたけば伸びるもの。

鋼(はがね)・・・炭素量 0.03～1.7%のもの。加熱して、たたけば伸びるもの。

銑(ずく)・・・炭素量 1.7%以上のもの。加熱しても何をしても伸びないもの。

この「鋼」に分類されるもののうち、特に破面が均質で良好なものを「玉鋼(たまはがね)」といい、これはそのまま刀剣の素材になります。一方で、銑は炭素量が多いのでこれを取り除き(脱炭)、鉄は逆に炭素を吸収(吸炭)させ、鋼の炭素量に調節して使用します。

 図2-34 Fe-C系平衡状態図		 フリーイラストより
炭素鋼(砂鉄)の平衡状態図	玉鋼(砂鉄からできたインゴット)	主人公: 竈門 炭治郎

※ **焼き入れ(quenching)**: A1 線よりも 30℃～50℃高い温度に加熱をして十分に保持したのちに急冷焼入れ後によって生じた炭素鋼は硬さが増すオーステナイト組織→急冷(水冷・油冷)→マルテンサイト(martensite)組織質量効果(mass effect)質量効果が大きいと焼入れの硬さが低くなる

※ 日本刀の知識

(1) 日本刀の種類(作られた時代)

- ① 古刀(ことう)・・・平安時代から文禄(豊臣秀吉)まで
- ② 新刀(しんとう)・・・慶長から安永(江戸時代中後期)まで
- ③ 新々刀(しんしんとう)天明から明治初期まで
- ④ 現代刀(げんだいとう)明治以降

(2) 日本刀の種類(使用目的・刀の長さ)

- ① 太刀(たち)・・・刃を下にして腰に佩用(はいよう)刃の長さ2尺から3尺
- ② 刀(かたな)・・・刃を上にして腰帯に差すもの。長さ2尺以上
- ③ 脇差(わきざし)・・・刃の長さ1尺以上2尺未満のもの
- ④ 短刀(たんとう)・・・刃の長さ1尺未満のもの